

(株) 山本建設 環境行動計画

取組方針

株式会社山本建設は、当社の経営理念である『信頼・協調・努力』をモットーに、顧客ニーズにあった土木工事業をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全も重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動に伴う省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減、リサイクルの推進
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和元年7月23日

株式会社山本建設

代表取締役 山本 哲男

3. 環境負荷の低減目標

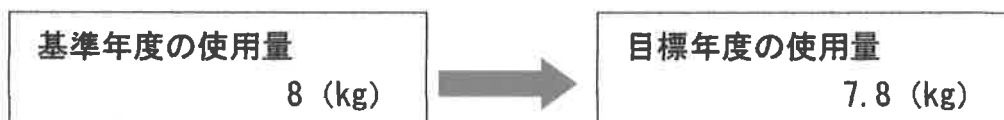
令和 2 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 30 年度です。)

【目標 1】二酸化炭素の総排出量を 2%削減する。



【目標 2】廃棄物の適正な管理を行い、排出量の削減、リサイクルの推進に努める。

【目標 3】コピー用紙使用量を 2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ③ ノー残業デーを設ける。
- ④ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ⑥ カーテン、ブラインドを利用して室内への日射と通風を調節する。

(車両での取組)

- ① エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル等)
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑤ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組 2】廃棄物排出量の削減、リサイクルの推進

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 紙のリサイクルに努める。
- ④ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組 3】コピー用紙使用量の削減

- ① 不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。

- ② コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ③ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ④ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、社長（環境保全活動の責任者）を中心に全社員が「環境保全活動に向けた具体的な取組」に取り組むとともに、その進捗状況を年1回チェックします。